



2026年2月13日

各 位

会社名 株式会社小田原機器  
代表者名 代表取締役社長 津川 直樹  
(コード番号：7314)  
問合せ先 専務取締役管理部長 佐藤 健一  
T E L 0 4 6 5 - 2 3 - 0 1 2 1

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の進捗状況について

当社の資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

当社グループは、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に向けて、引き続き資本コストや株価を意識した経営を実践してまいります。

なお、当社グループは今後の持続的な成長に向けて、2030年度を最終年度とする新中期経営計画「ONG2030」を策定しました。これに伴い、資本コストを上回る収益性の確保を実現するため、ROE及びPBRの向上に向けた具体的な方針を以下の通り策定いたしました。

#### 1. KPI目標

KPI	2024年12月期実績	2025年12月期実績	2030年12月期目標
ROE	7.3%	2.3%	9.0%
PBR	0.95倍	0.92倍	1.20倍

## 2. 改善計画

当社グループは、(1) 当期純利益率の改善、(2) 総資産回転率の改善、(3) 株主還元の強化の3点により、ROEとPBRの向上を目指してまいります。

### (1) 当期純利益率の改善

売上総利益率30%達成を目標とし、下記施策に取り組んでまいります。

#### ① 「標準化」による開発・製造コストの最適化

製品仕様の標準化を強力に推進し、開発・設計工数の削減を図ります。また、製造現場における生産プロセスを標準化し、QCD（品質・コスト・納期）の競争力を強化します。

#### ② 品質プロセスの遵守による品質コストの低減

要件定義から開発・設計、製造・出荷に至る各工程において品質プロセスを厳格に遵守するとともに、品質意識の全社的な向上を図ることで、利益を侵食するアフターサービス費を抜本的に削減します。

	2024年12月期実績	2025年12月期実績	2030年12月期目標
当期純利益率	4.8%	1.3%	3.7%

### (2) 総資産回転率の改善

サプライチェーンを改善し在庫金額の最適化を図るため、下記施策に取り組んでまいります。

#### ① 業務プロセス変革

2026年7月に導入予定の新基幹システムの運用を定着させます。具体的には、従来の製番方式からMRP方式へ変革することで、市場での需要の変化に応じて、求められる製品を必要な数だけタイムリーに生産できるようになります。また、部品の調達数・調達時期や設計・調達・製造タイミングを最適化し、リードタイムを短縮してまいります。

#### ② 変動費の低減

部材費が高騰する中、仕様を標準化し部品点数を削減することで変動費を削減してまいります。

	2024年12月期実績	2025年12月期実績	2025年12月期目標
総資産回転率	0.620回	1.052回	0.900回

(3) 株主還元強化

2025年8月8日公表の「配当方針の変更、配当予想の修正及び株主優待制度の変更に関するお知らせ」のとおり、下記のとおり配当方針を変更しました。本方針に基づき、引き続き積極的な株主還元を実施してまいります。

変更前	変更後
下記のうち、金額が大きい方 ・ 配当性向30% ・ DOE2.0% ただし、1株あたり15円の安定配当部分を設定	下記のうち、金額が大きい方 ・ 配当性向40% ・ DOE3.0% ただし、1株あたり15円の安定配当部分を設定

以上